

特許紹介

特許名称

経路案内データベースのデータ構造

特許番号

特許第 4994256 号

発明の目的

経路案内をする場合には、上述のようにユーザに違和感を与えたり、誤解を招いたりする表示は避け、通行態様に即した案内表示を行う必要がある。このように通行態様に即した案内表示は、ドライバズビューでの案内表示をする際に特に有用であるが、パースアイビューによる3次元地図表示や2次元での地図表示においても有用である。

従来技術では、上述の案内表示を実現することはできなかった。特許文献3に開示されているように、交差点での右左折に対応するリンクをそれぞれ設ければ、曲線状の経路を案内表示することは可能である。しかし、この場合には、経路探索用のリンク数が増え、経路探索に要する時間が増大するという別の課題を招くことになる。交差点に進入する前の車線変更を案内しようとするれば、車線数に応じて道路を表すリンク数を増やす必要が生じ、経路探索に要する時間が更に増大することになる。

本発明は、かかる課題を解決するためになされたものであり、経路探索に影響を与えることなく、通行態様に即した案内表示を実現することを目的とする。

特許請求の範囲

(請求項の数 14)

【請求項1】案内対象となる移動体を、経路上で誘導する誘導線を表示するために使用する経路案内データベースのデータ構造であって、
前記経路案内データベースは、
案内すべき経路を、位置座標を含むノードおよびリンクで道路を表した経路探索データベースに含まれる前記ノードおよびリンクで表現した経路探索結果を読み込み、前記移動体の現在位置の位置座標を検出し、位置座標に応じて、前記経路探索結果を参照して、前記移動体が進むべき経路を表示可能な経路案内装置が、前記移動体の通行を前記経路上で誘導するための誘導画面を表示するために参照するデータベースであり、前記経路上において前記移動体が通行すべき誘導線を表す誘導線形状データと、
前記各誘導線形状データに対応づけられ、該誘導線形状データを前記ノードおよび
リンクに関連づける関連情報とを備え、
前記関連情報は、
前記誘導線形状データとは別に用意され、該誘導線形状データを簡素化した中間ノードおよび中間リンクと、前記経路探索データベースのノードおよびリンクと前記中間ノードおよび中間リンクとの対応関係を示す第1の関連データと、
前記誘導線形状データと前記中間ノードおよび中間リンクとの対応関係を示す第2の関連データとを備えるデータ構造。

【図5】

